

「協調自律学習」型

授業設計・評価・改善研修 概要図

授業設計・改善手法
の獲得

研修の目的

授業を構成する教育技術（例：ゆさぶりの質問）を抽出・分析し、それらを複数の教員間で共有して、応用可能なものとして蓄積し、生徒の「学び」に視点を置いて効果的に配置・活用することで改善を図っていくといった授業設計の手法を獲得させることを目的とする。



③技術の分析・共有

「技カード」を教科独自のものと、教科を超えて共有できるものなどに分類し、発表を通して参加者全員で共有する。

④技術を活用して授業を再設計

全体で共有した「技カード」を使って、チーム内1人の学習指導案を改善する。

各自、研修以降に実施する単元を選んで学習指導案を作成する。

②技術の抽出

自分の授業から教師の行為と生徒の反応等を抽出し、その効果・使いどき・具体的行動から教師の技術を抽出し、その教育的意図を名付け「技カード」を作成する。

①授業の観察・分析

ビデオ撮影した自分の授業を観察・分析する。



技：掘り下げの発問

効果 気づきを具体化し、気づきがさらに明確な形になるように助ける。

使いどき 生徒の発言にキーワードが含まれているが漠然としているとき。

具体的行動 発問 例「なぜ?」「例えば?」

【技カード】

